

高野新聞

Vol.52

発行：高野たけし事務局
〒249-0005
逗子市桜山7-3-3 A-201
046-871-7368



高野 たけし
37歳

逗子市議会議員(2期)
中央大学大学院修士課程修了

高野たけしの議員活動報告 ～ これからの課題 Part 1 ～

■E-mail takano_zushi@yahoo.co.jp

■FAX 046-871-7368

ご意見・ご要望などありましたら、E-mail、FAXでお送りください。

今月号では、「教育」と「環境・まちづくり」における本市の課題と、高野たけしの今後の取り組みの一部を掲載させていただきます。(来月号は「福祉」と「行財政改革」を掲載予定)

教育環境の整備を推進

◆児童生徒それぞれに合ったカリキュラムの充実

児童生徒の習熟度の差が大きくなっていると言われてい
る教育現場の現状を考えた場合、個々の不得手を解消し
やすい少人数指導の充実が必要であると思います。教員
数の問題もあり、現在は特定の科目に限られています
が、今後はより多くの科目で実施できるよう、市の予算での
人的配置の充実を要望していきたいと考えています。

◆中学校給食の導入に向けて

私も推進してきた中学校への完全給食の導入が実現に
向け動き出しています。現在はどのような形態で導入す
べきか庁内で協議中ですが、導入にあたっては適正な施設
整備がなされるのか、また食の安全性と栄養面がしっかり
と担保されるのか、より良い給食制度となるようその進捗
をチェックしていきたいと思います。

◆児童生徒の目線に立った支援体制の強化

近年、中学校の教育現場では小学校から中学校にあ
がったとたん学習や生活の変化になじめず、不登校やい
じめに発展してしまう「中一ギャップ」が問題となっています。
生徒たちがこうした状況に陥らないための対策として、小
学校と中学校の教育現場の連携強化を推進していくと
ともに、全ての子ども達の課題に対応できる支援体制の強化
にも努めていきたいと考えています。

政治資金の残り あと 2,683円

(12/1～12/31までの内訳)

支出…事務所費(12月分)	30,000円
新聞作成用紙代	3,250円
ポスター掲示用資材	9,194円

※今後も政治資金のガラス張りは必ず続けていきます。

住みやすいまちづくり

◆電線類の地中化で安心・安全の道路整備

逗子市は道路幅の狭い所が多いため、歩行者の安全性の確
保が難しい状況になっています。そこで、歩道の拡幅とバリアフ
リー化の充実が図られるよう、必要箇所の電線類の地中化を
推進していきたいと思います。また、踏切内道路の安全整備に
関しても、JRや県など関係機関への働き掛けを引き続き行っ
ていきます。

◆交通渋滞の緩和策を推進

JR逗子駅東口駅前には特に交通渋滞が激しいこともあり、交
差点の改良を行うなど、その緩和に努めてきましたが、時間帯
によっては未だ渋滞が起こりやすい場所となっています。今後
も、道路やロータリーの形態、さらには近隣踏切りの遮断時間
短縮など、抜本的な改善が図られるよう尽力していきます。

◆地域に即した公園整備

市内には大小合わせて75箇所の公園があります。現在は画
一的な整備がなされておりますが、今後は遊具や設備の配置
などを含め、近隣の方々の使い方に合わせた公園整備を順次
行っていくよう提案していきます。

◆養浜対策の拡充で海岸を守る

逗子海岸の砂浜には毎年600～800㎡の砂が投入されていま
すが、台風などの自然災害の影響もあり、ここ数年砂の減少が
激しくなっています。今後は、県、及び国に対しても養浜対
策の拡充を求めながら、逗子海岸の環境保全に努めていま
す。

◆小児医療費助成制度の拡充案が廃案に

12月定例会で可決した小児医療費助成制度の拡充案※1に対し、市長より再議※2の申し出があったため、定例会閉会後の12月21日に臨時議会が開催されました。表決の結果は、前回と同数の11人の賛成(高野たけしは賛成)しか得ることができず、廃案となってしまいました。

近隣市町と比べ決して恵まれているとは言えない本市の小児医療費の助成制度については、速やかに何らかの措置を図るよう、臨時議会終了後改めて市長に申し入れを行いました。

《逗子市と近隣市町の小児医療費助成制度の現状》

逗子市	0歳児は所得制限なし。 1歳～小学校就学前まで所得制限あり。
鎌倉市	0歳～小学校就学前まで所得制限なし。 小学校1年生～6年生まで所得制限あり。
三浦市	0歳～小学校就学前まで所得制限なし。
葉山町	0歳～満7歳未満まで所得制限なし。

※1…就学前までの児童の医療費助成における所得制限を撤廃する条例改正案。

※2…市長が議会の判断に対し行う拒否権。この場合、議会で再度表決を行うことになるが、可決には出席議員の3分の2の賛成が必要となる。(通常は過半数の賛成で可決)

「高野新聞」お届けします！

高野たけしの議員活動や議会報告などをお伝えするために配布している「高野新聞」も発行から早8年が経ちました。これまでも市内の各駅頭で配布してきましたが、サラリーマンを引退して駅を利用しなくなった方や、出張で配布している時に会えなかった方などから、「高野新聞」を送ってほしいとの要望を数多く頂いてきました。

そこで、ご要望がある方々に「高野新聞」をご自宅のポストにお届けさせていただきたいと思っております。一度お申込み頂ければ、発行時に毎回お届けさせていただきます。(通勤で駅を利用されている方のお申し込みも大歓迎です)

※申込方法

FAX、メールでお申し込みの方は、お名前とご住所を記載してお送りください。

電話でお申し込みの方は、お名前とご住所をお伝えください。

電話・FAX: 046-871-7368

メール: takano_zushi@yahoo.co.jp

どーなっているの？

市民の皆様からのご意見・ご要望にお答するコーナーです。

Q1:住宅裏の急傾斜地がいつ崩れるか心配です。対策を図っていただくことはできないでしょうか？

久木6丁目にお住まいの方からのご相談を受け現地を確認したところ、傾斜地に生えている樹木が生い茂っているため、その重みで地盤が今にも崩れてきそうな状態になっていました。

当該地に関して調査したところ、県の急傾斜地の指定を受けていることが判明しました。そこで、市の協力を得て、県に対し早急な対策を行うよう要望したところで

す。地震等の自然災害による人的被害が発生しないためにも、安心して生活できるまちづくりを目指して今後も活動していきたいと考えています。



Q2:第一運動公園の東側付近にある池子踏切ですが、道幅が狭く危険を感じる場合があります。拡幅していただけないものでしょうか？

ご要望のあった踏切においては、歩行者の安全性を考慮し、昨年度歩道幅が拡幅されました。しかしながら、踏切内の道路幅は変更されていないため、結果として車道幅が狭くなり、歩行者と車の接触の危険性は指摘せざるを得ない状態となっています。

そこで、担当所管である環境都市部に対し、抜本的な解決が図られるよう踏切幅の拡幅を要望いたしました。その結果、市としても安全性の向上が図られるよう、国、JRなどの関係各所と協議していく旨の回答がありました。

